

国の悪政から住民のいのちとくらしを守る

消費税増税、原発再稼働、年金引き下げ、医療改悪、介護保険改悪、労働者派遣法の改悪・・・安倍自公政権は、国民のくらしを顧みない政策を次々に進めています。さらに、憲法9条の解釈をムリやり変えて、戦争する国へ突き進む『集団的自衛権の行使』容認を強

行しようとしています。国の悪政から、市民を守る防波堤として、自治体の役割はますます重要です。わたくし、岡井つとむは、一昨年末の衆議院選挙で頂いた多くのご支援を力に、また市議2期の経験を生かし、市民のいのちと暮らしを守るため頑張る決意です。

市議(2期)における主な活動 1999年5月～2007年4月

国保料引き下げ請願署名の紹介議員として議会で奮闘

7年前、『国保料・介護保険料の引き下げを求める請願』運動で約8万筆の署名



が議会に提出され、紹介議員として奮闘。

請願は、当時の与党会派に否決されましたが、わたしが議席を失った後も共産党議員団が粘り強く要望し、国保料についてはひとり年間で11,597円引き下がっています。

重度障害者(児)の入所機能を備えた総合施設の建設を粘り強く求める

親亡き後の「障害者(児)を支える総合施設を」という保護者の方たちの切実な運動に



応え、議会で繰り返し質問。市がようやく建設を表明し、実現

にこぎつけました。しかし、開設から4年が経ったいま、障害者(児)や難病患者さんたちの状態やニーズも多様化しており、課題が山積しています。障害者(児)・難病患者さんたちの施策のさらなる拡充に頑張ります。

学童保育の国への補助金申請を市に決断させ施策の拡充を求める

のびのびルーム発足時、堺市は「堺市の、のびのびルームは教育委員会の施策であり、福祉施策ではない



ため国の補助金申請は無理」として、国への補助金申請を渋ってきました。そこで、文科省と厚労省へ調査に行ったところ『教育委員会の施策でも補助金申請は可能』と判明。これを議会で追求し申請を決断させました。

しかし今また、学童保育事業が全児童対策事業へ統合されようとしている中、福祉の性格が損なわれないよう頑張ります。

岡井つとむのプロフィール ● 出身 / 1951年大阪市生まれ(62歳) ● 現住所 / 堺市北区新金岡町2丁5番14棟109号 ● 家族 / 妻・長女・長男・次女 ● 趣味 / 落語、カラオケ、ギター ● 学歴 / 大阪市立汎愛高校卒、なんばデザイナー学院卒 ● 職歴 / オーディオ・ラックス(株)、西成民主商工会事務局、(株)アド研勤務、広告デザイン事務所自営 ● 活動歴 / 堺市議会議員2期、堺学童保育連絡会副会長、新金岡東小学校たんぼぼ学童及び新金岡小学校のびのびルーム保護者会会長 ● 現在 / 日本共産党堺地区委員会常任委員、日本コリア協会・大阪理事、上方社会人落語連盟会員



Guard one's life & living

日本共産党

守るいのちとくらし 市政を!



堺市北区

おかい つとむ

元堺市市議会議員

岡井 勤



日本共産党
民主堺
2014 / NO.1372

● 日本共産党堺地区委員会の訴えをご紹介します。
日本共産党堺地区委員会 堺市西区浜寺石津町東 1-4-24
TEL.072(244)4080 FAX.072(244)4084